

ほうゆうたより 12^{DEC}月号

編集委員：施設長 池 功 司

もう幾つ寝るとお正月。 皆さんはどの様な一年でしたか？ 振り返ると我がホームにおいては名称が漢字「朋悠」からひらがなの「ほうゆう」に変更になったのが大きな出来事です。

オープンした頃は漢字が読みづらいとの指摘もあり、悩みましたが「朋悠」にしたのも意味があり、「朋」の字は人を表わし、「悠」は古い知り合いと言う事で、ホームにいる人達は昔から長い友人との意味でしたが、いまさら説明の必要も無くなりひらがなに変更しました。 今年に入居者さんたちには大きな怪我・病気はありませんでしたが、長年一緒に居た山ちゃんとお崎のばあちゃんが亡くなられたのは本当に残念でした。 ですから職員には毎日悔いが残らないようにお世話する様にと小言のように言い続けています。 また今年には満 100 歳を迎えた西口さん、88 歳の星さんとお祝い事もあり、プラスマイナス 0 という事です。 新しい入居者さんもホームでの生活にも慣れ、皆と仲良くしてくれる事は嬉しい話です。 泣き笑いの一年ですが、私や職員はお年寄りに癒されています。 最後になりますが、今年一年無事に過ごす事が出来たのも、ご家族・地域の皆様お陰と心から感謝いたします。 皆様方のご健康を心から祈念申し上げます。 来年も宜しく願いいたします。 良い年をお迎えください。



12/23日はホームのクリスマス会でした。いつもの事ではありますが、「花より団子」神様であろうがキリスト様であろうがお構いなし、旨いものが食べれてプレゼントがもらえれば、それでOKです。

世間一般の忘年会のようなものです。ただお酒は出ませんが、一年間無事に過ごせた事を感謝してチキンとケーキを食べてもらいました。来年も再来年もお年寄りが喜んでくれるなら、お安いものです。



12/28日はお年寄りが期待している、餅つきを行いました。毎年この日を餅つきと決めているので、今年もご家族やお手伝いの人手でゴッタ返しです。何故かしら毎年餅の量が増えています。最初の頃は4升でしたが、昨年は5升で足らず、今年は6升つきましたが、私の口には入りませんでした。食欲があるのは嬉しいのですが、餅の場合は横に掃除機を置いての食事です。

ところが普段、のど詰りする人達が、餅を食べてもつまらないのです。不思議な話しです。見ている職員の方がはひやひやしてのど詰りしそうなくらいです。やっぱり、付きたての餅はやっぱり旨いそうです。

1月の行事予定

1・1/2・3 書初め・カルタ取り

2・誕生会 高松さん 1/2-96歳、星さん 1/11-89歳、日下部さん 1/21-74歳